

## 豊平区体育館だより

### スポーツ<sup>アンド</sup>フィットネス講習会

種目	曜日	予定開講期間	開講時間	定員	受講料	申込方法
インドアゴルフ	金	11月15日 ～1月24日 [全8回]	午後0時40分 ～2時10分	各26人	7,200円 (4,300円)	10月31日(木)、11月1日(金) 午前10時～午後4時(電話申し込み可)。定員を超えた場合は抽選いたします。
			午後2時20分 ～3時50分			
テニス初級	火	11月19日 ～2月4日 [全10回]	午後1時～3時	10人	6,200円 (3,700円)	11月5日(火)、6日(水)午前10時～午後4時(電話申し込み可)。定員を超えた場合は抽選いたします。
テニス初中級			午後3時～5時	12人	8,000円 (4,800円)	
卓球初級	火	11月19日 ～2月4日 [全10回]	午前10時～正午	30人	4,100円 (2,500円)	11月5日(火)午前10時～午後4時(電話申し込み可)。定員を超えた場合は抽選いたします。

◆対象 16歳以上の方。

※受講料のカッコ内の金額は、65歳以上の方、受講期間中に65歳になる方の受講料です。申込時に、年齢を証明できるものをお持ちください。

※受講料のほか、入館ごとに体育館使用料(一般390円、65歳以上130円)が必要です。

(申込先・詳細) 豊平区体育館(月寒東2条20丁目) ☎855-0791



### 第34回「リンゴ並木」の巻

#### ～リンゴの歴史を後世に～

豊平区役所から国道36号までの環状通中央分離帯には、リンゴ並木があります。春には白い花が咲き、秋には赤い実がなつて、道行く人たちの目を楽しませてくれます。

豊平区のリンゴの歴史は、明治八年に、開拓使が苗木を平岸地区に配ったことから始まります。昭和十一年ころには、シンガポールにまで輸出され、「平岸リンゴ」の名で親しまれましたが、昭和三十年前後から、都市化の進行などにより、リンゴ園は徐々に姿を消していききました。

リンゴ並木は、昭和四十九年十一月、豊平区のリンゴの歴史を後世に伝えようと作られました。最初は、「旭」「レッドゴールド」の二品種、計八十本が植えられ、並木の維持管理などについては、リンゴ栽培をしていた当時の平岸農協青壮年部が行いました。

翌五十年十月には二百個ほど実がなつていて、月末の収穫に期待が高まりましたが、いつの間にかすべて無くなりました。そこで昭和五十一年二月に、美園地区にあるこの並木を守ることを目的として、「美園リンゴ会」が誕生しました。

そして、同年十月には「豊平区民のつどい第一回リンゴまつり」が盛大に開催され、昭和六十年には「りんご並木の碑」が、並木沿いの月寒公園ふれあい通りに建てられました。

また、並木は、平成元年に「北海道まちづくり百選」に、三年に建設省(現在の国土交通省)の「手づくり郷土(ふるさと)賞」に選ばれています。現在は、枯れたり、倒れたりした木の跡に苗木を植え直すなどして、「きたかみ」「あかね」「つがる」など十二品種、計八十九本が植えられています。

なお、リンゴ並木にある送電鉄塔は道内でも数少ない「環境調和型鉄塔」で、並木に調和するようにと、昭和六十二年に北海道電力によって建て替えられたものです。鉄塔の土台部分にリンゴが描かれているものが二本あります。ちよつと歩みを止めて探してみませんか？



実を付けた「つがる」と送電鉄塔

## 広告欄